

(様式9)

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和6年3月11日

事業所名 みんなのおうち玉山

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容及び改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	1	0	計65㎡程の複数ある指導訓練室(発達支援室)を生かし、日々の活動内容に応じてゆとりを持った空間運用に努めています。	
	2	職員の配置数は適切であるか	1	6	0	指定基準よりも多い職員の配置を行っています。	指定基準よりも多い職員の配置を行っていますが、送迎方向の数などを背景に、職員配置増の必要性も認識しています。今後、時機を見て検討を進めます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	3	3		玄関をはじめ、バリアフリー化が十分に進んでいないため、今後早急に該当箇所のバリアフリー化を進めます。さらに、トイレの個室数も一つだけでなく、今後時機を見て増設等も検討していきます。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	3	0	支援の質の向上のため、事業所の職務従事者全体でPDCAサイクルの実施と向上に努めています。	引き続きPDCAサイクルの向上に努めていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	2	0	必要に応じてアンケート調査等の実施を行っています。	今後より一層さまざまな形での保護者の方々の意向把握に努め、その意見を取り入れながら業務改善に繋げていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	1	4	2		昨年までは法人ホームページのみの公開状況であったため、今年度以降は新たに掲示場所を見直し、事業所ホームページについても改めて運用を開始し、同時に個別配布も実施していきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	4	2		今後第三者評価を実施いただき、業務の改善に繋げていきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	0	0	職員の資質向上のための法人内の基礎研修を中心に、法人外のWeb研修等も活用し、継続的に研修を実施しています。同時に、疑問や不安な点などがあれば、その都度研修を行うように努めています。	今後より一層さまざまな形の研修機会を拡充し、職員の資質向上に最大限努めていきます。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容及び改善目標	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	3	0	支援者全員が個別支援計画検討に携わり、個々の利用児と保護者のニーズを踏まえて、必要な支援ができるように取り組んでいます。	支援の質の向上のため、今後より一層、子どもや保護者のニーズ及び課題の客観的かつ適切な分析に努め、必要な支援に支援者全員で取り組んでいきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	5	0		子どもの状況把握のための標準化されたアセスメントシートの学習活用を進め、発達特性に応じたアセスメントや支援の5領域に沿ったアセスメントなどを今後より一層活用していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1	0	年間計画、月間計画の立案運営に支援者全員が携わり、支援の質の向上のため、チーム支援のような連携強化に努めています。	支援の質の向上に資する活動プログラム充実のため、今後より一層チーム支援の強化に努めていきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	1	0	季節行事も多く取り入れながら、毎月のプログラム予定表に様々な活動を取り入れられるよう、個々の特性に応じたアレンジを行っています。	今後もより一層利用児様が楽しく様々な活動に取り組めるように、支援者全員で活動プログラムの充実に努め、その内容が固定化しないよう工夫していきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	4	0	利用児様の状況に応じて、課題を検討しながら、その時期に応じた支援の実施に努めています。	季節や天候に応じた屋外活動の設定や、外出体験・買物体験などの、様々な社会資源の活用も積極的に取り入れた支援の実施に今後より一層努めていきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1	0	利用児様の状況や利用頻度などに応じて、個々に様々な個別活動と集団活動を組み合わせた放課後等デイサービス計画の作成・実施に努めています。	今後もより一層、個々の状況等に応じた放課後等デイサービス計画の内容の充実に努めていきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	3	0	支援開始前にはその日來所予定の利用児全員の前回活動時の様子や配慮事項等の確認、プログラムの確認や、職員配置・役割確認等のミーティングを行っています。	長期休暇を含め、出勤時間や送迎時間の関係上、全員揃った上でのミーティング時間が短いことがあるため、可能な限り十分な時間の確保に努め、補助的な情報共有ツールの充実に努めていきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	6	0	支援者の勤務時間が同一ではないため、毎日終了後に支援者全員で振り返りを行うことは現在できていないものの、振り返った内容は翌日に全員で共有検討するなど、振り返りの確保に努めています。	その日ごとの支援の振り返りを滞りなく実施していくと同時に、個々に気付いた点などを漏れなく共有できるよう、今後改めてミーティング実施時間や滞りない情報共有のためのツールの活用を再検討していきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	2	0	日々の支援記録の振り返りを行うことで、適切な支援記録の作成に努めています。	支援記録の振り返りを行っていますが、十分ではないと認識しています。今後、その検証・改善のため、定期的に、支援記録に関する研修を実施し、曖昧な表現などがあつた際には、支援者間で互いに検証しながら、明確な記録作成に努め、支援の質の向上に繋げていきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	2	4	1		毎月のケース会議時に利用児状況として振り返りを行いながら、利用児の状況に合わせたモニタリングを行っています。ですがこの間、児童発達支援管理責任者の欠員によって、正式なモニタリングが四ヶ月の間実施できていませんでした。新任者着任に至った現在以降は、一層の支援の質の向上に努めていきます。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	4	3	0	ガイドラインに沿った基本活動の組み合わせや支援の充実に努めています。	ガイドラインに関する研修機会の一層の充実など、その総則理解の向上に資する学習研修をより多く実施していきます。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容及び改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	4	0	児童発達支援管理責任者だけではなく、児童指導員として日々直接支援をしている支援者も継続的に参画しています。	引き続き、状況に応じてサービス担当者会議等には、児童発達支援管理責任者に加え、個々の子どもの状況等に精通した支援者も参画していきます。
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	2	0	年間行事予定表や各月の予定表を各学校から頂くと同時に、日々の引き継ぎの機会だけでなく、定期的な情報交換会の実施依頼や連絡協議会等への参加によって、きめ細かな情報共有に努めています。	今後もより一層、現在ご協力頂いている各学校を含む、情報共有の機会の充実に努めると同時に、日々の連絡調整や情報共有に関しても、共有漏れが起こらないよう、適切な運営に努めていきます。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	4	2		現在は該当する利用はございませんが、てんかん等への対応が必要な利用児様については保護者の方を通じて主治医等と適宜情報共有を行わせて頂くなど、その連絡体制確保に今後も努めていきます。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	0	5	2		これまで部分的に情報共有を行うことができてきた利用児様もいますが、今後は必要に応じて各関係機関との連携構築を積極的に図りながら、適切な情報共有と相互理解に努めていきます。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	6	0		現在までは該当するケースはありませんでしたが、今後様々な障害福祉サービス事業所等との交流や情報共有により一層積極的に取り組み、個々の状況に応じた移行が必要な際には滞りなく情報提供を行えるよう努めていきます。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	5	1		今後より一層、専門機関が主催する研修などに支援者全員が参加できるよう調整を行い、支援者全員の療育技能や知識の向上に努めていきます。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	2	5	事業活動外の地域活動の一環で、施設一般開放の場を設け（子ども食堂等）、利用者の方にも案内を出し参加頂くことで、一時的かつ部分的な交流の機会には少しずつ繋がっています。	現在事業活動としては放課後児童クラブや児童館との交流は行えていませんが、今後、長期休暇期間などを中心に交流の機会を図っていきます。また、そのためには各関係機関との定期的な情報共有や相互理解に最大限努めていきます。
	27 (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	0	6	1		これまでは参加できていませんが、今後機会があれば積極的に参加します。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	3	0	日々の連絡帳上でのやり取りや、送迎時の連絡相談、その他事業所内相談や電話・書面等での相談の機会などを活用して、共通理解を持てるよう努めています。	今後より一層、連絡や相談に係る機会を充実させ、子どもの発達の状況や課題に係る共通理解の促進に最大限努めます。
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	6	1		今後ペアレントトレーニングに係る研修開催時には積極的に参加し、支援者自身その知識を継続的に学びながら、支援の充実に努めていきます。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容及び改善目標
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	3	0	契約書や重要事項説明書等の内容については、契約時並びに改定時には書面と共に説明を行い、疑問点などがあれば解消できるように努めています。	今後より一層、運営規程や支援の内容、利用者負担やその他重要事項等に関する丁寧な説明に努めていきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	4	0	日々の連絡帳上での相談や事業所内相談、並びに電話・お手紙等で頂くご相談の傾聴に努め、必要な助言や支援に繋げられるよう取り組んでいます。	今後より一層、保護者の方からの悩みや不安、ご要望やご意向等の把握に努め、必要に応じてその解決等に資するよう、支援の質の向上に努めていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	4	1	これまでは保護者会等の開催及びそのための十分な支援には至っていませんが、昨年度から交流会（親子夕涼み会）や保護者懇談会等の行事開催に積極的に取り組み始めました。	今後より一層継続的に交流会等の機会を積極的に設け、保護者の方々同士の連携支援に努めていきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	3	0	苦情窓口を設置し、苦情などがあった場合には、適切かつ迅速に対応できるよう努めています。	様々な情報収集ツールを導入するなど、子どもや保護者からの苦情等について、活用しやすい環境づくりに努めていくと同時に、苦情があった場合には引き続き適切かつ迅速な対応に努めていきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	3	0	毎月活動概要を記したおたよりやプログラム予定表等を作成配布し情報発信に努めています。	今後、毎月のおたより等での情報発信に加え、事業所専用ホームページの運営やSNS等の活用によって、より一層の情報発信に努めていきます。
	35	個人情報に十分注意しているか	6	1	0	個人情報に関わる書類は鍵付書庫にて管理し、破棄する際には必ずシュレッダーを利用しています。	引き続き個人情報の取り扱いには十分に留意します。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	2	0	場合に応じて伝達方法等を工夫し確実に情報伝達が行えるよう留意しています。	今後も場合に応じて滞りない情報伝達のための必要な配慮に努めていきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	4	1	地域の団体等と定例行事（子ども食堂、茶話会等）を共同で行い、地域社会に開かれた事業所運営を図っています。	今後、事業所主催の行事に地域住民等を招待するなど、より一層地域に開かれた事業運営に努めていきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容及び改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	4	0	緊急時対応マニュアル等の策定を行い、その周知に努めています。	今後、緊急時対応や防災・防犯対応等に関するマニュアルについて実情に即した見直し・改正を実施し、その都度掲示・発行を行い、周知に努めていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	1	5	1	毎月防災学習を実施し、定期的な防災訓練の実施に努めています。	今後、防災訓練等の一層の充実に努め、様々な状況に応じた必要不可欠な訓練をより一層入念に実施していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	2	0	随時虐待防止研修を行い、虐待の防止に努めています。	既存の虐待防止研修に加え、県等主催の権利擁護・虐待防止研修に積極的に参加すると同時に、チェックシート等を活用して虐待防止に最大限努めていきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	2	0	身体拘束適正化については事前の説明と共に個別支援計画策定時に重ねて説明を行い計画に記載しています。また、身体拘束適正化に係る研修等の機会を通じて、その適正化に最大限努めています。	今後既存の身体拘束適正化研修に加え、県等主催の研修に積極的に参加し、その適正化により一層努めていきます。またやむを得ず身体拘束を行う場合は、その事前の了解と共に、適宜保護者の方との適切な情報共有を図り、その身体拘束の適正化に最大限努めていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	3	1	該当する利用児については、適宜医師からの指示書を頂き、適切な対応を行えるよう、対応の整備に努めています。	今後、必要に応じて対応を行い、適切なアレルギー対応を講じていきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	3	0	ヒヤリハットに係る記録の作成に際しては適切な話し合いの機会を設け、その後支援者全員で回覧し情報共有の徹底に努めています。	今後も引き続き情報共有の徹底に努めると同時に、ミーティング時の再検討や、継続的な情報確認を通じて、再発防止に最大限努めていきます。